

しきのみだより

～目次～

- ① ・ウクライナ関連
- ② ・きょうされん虹の会総会、
第45次国会請願署名活動報告
- ③④ ・新グループホーム完成に向けて
- ⑤ ・新メンバー、くれよん入園式、
カラフルアート展
- ⑥ ・寄贈お礼、にやりほっと
- ⑦ ・まつりおしらせ、寄付献品お礼、
編集後記
- 別紙 ・後援会紹介、決算報告
- 別紙 ・福祉会職員募集



宮園グループホーム（仮称）イメージ図

ありがとうの花開く

秋保 喜美子

はつかいちちやう はつかいちし
廿日市町が廿日市市になった後にできた「宮園団地」の片隅に
念願の新グループホーム建設がはじまった
すこ こだか みどり おお しず
少し小高い緑の多い静かな所 耳をすませば小鳥のさえずりが…
どんなホームができるのかなあー
みんなそれぞれの思いを抱きながら心待ち
さまざま しえん
様々な支援を受けなければ 日々の暮らしがままならない私たち
おや こうい
親も高齢になり介護が困難な中 家族からは
たいちやう わる
「体調が悪くても安心して休息できない」
おや な あじ
「親子後のことが心配で仕方ない」
せいかつ ば
「生活の場がもっとほしいー」
たいへん
大変さはひしひしと伝われど
じりつしえんほう
自立支援法から定められた日割り制度や
ほうじゅうつうえんひ たいけい もんだい
報酬(運営費)体系の問題もある
これからの運営に不安はあるけれど
けいさつ ちいさ
行政や地域の皆様の支援を受け 願いの実現へ向かう事ができた！
じぶん
自分らしくゆったりと暮らしたい
きぼう
「希望者みんなが利用できたらいいなあ…」
ときどき
「時々お家もいいなあー」
おあ
「お母さんを安心させたいなあー」
みやその
宮園のみな様 私たちを受け入れてくださって
「ありがとうー」
じうぞよろしくおねがいしますー！

ウクライナに心を寄せて…

連日、新聞やテレビ、インターネットニュース等では、ロシア軍の攻撃を受けているウクライナの惨状が報じられています。

そして、何の罪もない多くの市民が犠牲になっている現実、多くの人が心を痛めています。

障がいのある人たちの中にも、必要な支援を受けることが難しく、孤立や食料、薬不足等で、助けを必要としている人たちがいます。公的サービス等、専門職の多くが他国や国内の安全な場所に避難している中、危険な地域に残っている障がいのある人たちにとっては、ボランティアによる支援が頼りになっているとのこと。私たちに何ができるのでしょうか。



くさのみ福祉会では、きょうされん(※1)を通じて、ウクライナの障がい者団体等への寄附をさせていただきました。

きょうされんよりウクライナ緊急募金のよびかけ ～ウクライナの障がいのある人に心を寄せて～

2月24日に起きたロシアによるウクライナへの攻撃は、いまだに解決の糸口を見出すことができません。多くの市民の犠牲が日々伝えられています。障がいのある人や家族のなかには孤立したり、食糧や薬が不足したりと、極めて深刻な状況に置かれています。ミサイルなどで無残な姿に形を変えられた街並み、攻撃に怯えながら逃げることもできず街にとどまる人々、不安な表情を浮かべて国内外へ避難する人々。遠く日本で、連日の報道にふれながら、心を痛め、自分に何ができるか思案している人がたくさんいます。



写真はウクライナ障害者国民会議(NAPD)より提供

きょうされんは報道を受けてただちに緊急募金のとりくみを開始しました。同時に、藤井克徳専務理事による詩「連帯と祈り ウクライナの障がいのある同胞(はらから)へ」を国内外に発信しました。その詩は3月中旬、ウクライナの首都キーウ(キエフ)にいるウクライナ障害者国民会議のLarysa Bayda(ラーリサ・バイダ)さんにも届きました。同会議は自身も厳しい状況下にあるにもかかわらず、まさに命をかけて、障がいのある人や家族に食糧支援や避難時の支援などを行っています。ウクライナの障がいのある人への連帯を示す行動として、引き続き緊急募金をよびかけます。

※1 きょうされん

「あたりまえに働き えられる暮らしを」実現するために、日中系・就労系事業所やグループホーム、相談支援事業所などの会員(加盟事業所)によって構成されている障がい者団体。

※2 藤井克徳さん

◆日本障害者協議会 代表

◆きょうされん 専務理事

子どもの頃から弱視で、40代後半で全盲となる。養護学校で働く傍ら、障がい者が働くための「共同作業所」を立ち上げ、その全国組織の結成や運営にも携わる。

2004年、障害者権利条約批准をめざして国内の代表的な障がい者団体が集まった「日本障害フォーラム」結成に動き、障害者権利条約ができる時には日本の障がい者の声を伝えに度々国連を訪れるなど、日本の障がい者運動をリードしてきた。

～藤井克徳さん(※2)の詩～

連帯と祈り ウクライナの障がいのある同胞へ

戦争は、障害者を邪魔ものにする
戦争は、障害者を置き去りにする
戦争は、優生思想をかきたてる
大量の障害者をつくり出す最大の悪、それが戦争
朝一番のニュースを恐る恐る
キエフの包囲網がまた狭まった
教会も文化財も悲鳴を上げて崩れ落ちる
禁じ手が反古にされ
原子力発電所から火の手
殺し合いでなく話し合いを
侵攻でなく停戦を
停戦でなく平和を
青い空と黄色の豊作に似合うのは平和
私たちは祈ります
西北西の方角をじっとみつめながら
心の中から希望が切り離されないように
とにかく生き延びてほしい
戦争は、障害をたちどころに重くする
戦争は、障害者の尊厳を軽々と奪い去る
戦争は、障害者の明日を真っ黒に塗りたくる
早いうちに、否、この瞬間に終わらせなければ
もう一度くり返す
とにかく生き延びてほしい
たとえ、食べ物を盗んでも
たとえ、敵兵に救いを乞うても
遠い遠い、でも魂はすぐ傍の日本より

「人の心を動かすのは言葉。言葉は国境を越える。平和をつくるのに必要なのは武器ではない」と訴える藤井克徳さんは、その他にも詩をつくり、発信されています。

きょうされんを通じた寄附の情報や、藤井克徳さんの詩は、きょうされんのホームページから見ることができます→



にし かいそうかい おこな ～虹の会総会が行われました～



5月11日(水) きょうされん 広島県支部第24回
「虹の会総会」が、昨年度に引き続き、オンライン
で行われ、くさのみ作業所からは利用者12名、
職員4名が参加しました。

情勢報告から始まり、2021年度の振り返りや
2022年度活動方針の審議や採択についてなど、
盛りだくさんの内容でした。



情勢報告では、ウクライナ情勢と憲法9条につ
いて学びました。ウクライナとロシアとの間でなぜ
戦争が起きているのか、ウクライナ国内で避難ができ
ない障がい者がいることにも触れ、改めて戦争は良
くない事だと話し合いました。

また、新型コロナウイルス感染症や優生保護法
裁判の現状についてもおさらいをしました。

だい 第45次 きょうされん 国会請願署名・募金活動報告



目標を決めてみんなでがんばりました！！



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭署名
活動などはできませんでしたが、地域のみなさまのご支
援、ご協力のおかげで、署名・募金活動を無事終えるこ
とができました。

今後も私たちの大切な願いを国会に届けるため活動
を続けていきたいと思ひます。

ご協力、ありがとうございました。

◆署名・募金目標数◆

署名数	3,500	筆
募金額	90,000	円

◆署名・募金最終集約数◆

署名数	1,622	筆
募金額	68,980	円



みやその **宮園グループホーム(仮称)** かしょう **新築工事着工!** しんちくこうじ ちやっこう



関係者の参列のもと、執り行われた安全祈願祭の様子 (2022.4)

グループホーム建設予定地の様子 (宮園地区) (2022.6現在)

新しいグループホームは、今年、4月に工事着工し、10月末完成の予定です。(定員グループホーム 10名、ショートステイ 2名の予定)

市有地を借用し、行政(国・県・市)からの建設費補助という支援も受けながらの建設です。

福祉会としては、現在7か所のグループホームを運営していますが、福祉会自らが建設したのは、ハートインハウス(阿品地区)1棟です。完成、開所からすでに14年が経過しました。この間、新たなグループホームを望まれる当事者・家族の願いを踏まえ、障がいの重い(支援度の高い)方のグループホーム建設をめざし、建設用地の確保等に向け、福祉会内部での検討、さらに、関係機関との協議等を重ねてきました。そして、このたび、行政及び地域の皆様のご理解、ご支援のもと、念願のグループホーム建設の運びとなりました。

心から感謝申し上げます。



現在あるグループホームでの生活の様子



生活の場としてのグループホーム運営は、福祉会としても大きな役割と考えています。親亡き後を見据えた利用者やご家族の切実な願いでもあります。障がい(生きづらさ)があっても地域の中で、必要な支援を受けながら自分らしく生きるという基本的な願い(権利)を実現する大切な場所なのです。

やりがいのある大切な事業です。願いの詰まった新グループホームで、利用者、職員ともに笑顔あふれる生活が創れるようがんばりたいと思っています。



だれもがしあわせに

しょう 障がいのある人の地域生活を支えるグループホーム

グループホーム(共同生活援助)の運営にはいろいろな課題が...

し せつ せい び めん 施設整備面では...

グループホーム建設には、行政からの補助金による支援もあり、本当にありがたいことですが、補助率が低く、福祉会としても多額の費用負担(借入金等)が必要となります。これまで、借家でのホーム運営も行っていますが、今後は、障がいの重い方のホームが必要となります。この場合、消防法の関係で、安全確保のためのスプリンクラーの設置義務もあり、借家での対応は困難となります。建設コストの高騰・資金調達の面から次のニーズに速やかに応える(次のホーム早期建設)ことの難しさ、課題、悩みがあります。



うんえいめん 運営面では...

グループホームの運営は原則24時間365日の運営体制が必要となります。新ホームは障がいの重い方が多人数(10名程度)利用されることになり、支援体制(職員配置)の確保が必要となります。食事・入浴・排泄介助、服薬、見守りなど時間帯に合わせて、4人程度の職員で支援に当たります。夜間の時間帯(22時~)も職員複数配置が必要です。現在の国からの運営報酬では、利用者の安全確保や必要な支援を行うための人員に見合う人件費確保が困難な状況にあります。

じんざいかくほめん 人材確保面では...

家族の高齢化等に伴い、グループホームの利用希望者が増えています。日常生活を支えるには意欲を持った職員の確保が必要です。福祉分野(高齢・障がい・児童など)での人手不足は深刻です。障がい分野では、特に夜間勤務を伴うグループホームを支える職員の確保が思うように進まず、苦慮しています。そのような中ですが、数名の新規採用者もあり、一緒に頑張っていきたいと思っています。



こんごむ 今後に向けて...

今後、障がいの重い方、医療ケアの必要な方などの生活の場の確保をどうしていくかは廿日市市としての課題でもあります。行政を先頭に、関係機関で具体的検討をすすめ、知恵を出し合いながら、障がいがあっても地域の中で暮らし続けることのできる廿日市市の実現に向けて前進できることを願っています。福祉会としても、力不足ではありますが、できることはがんばっていかねばと考えています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



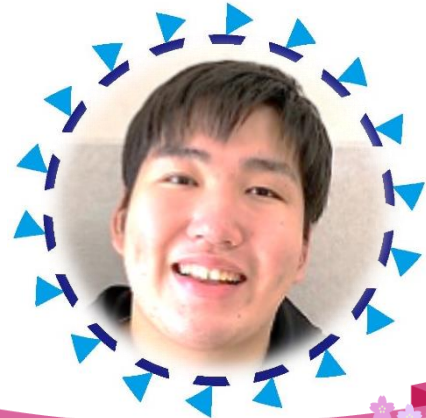
新グループホーム開設に向けて新規職員を募集しています

詳しくは別紙をごらんください♪



ようこそ! 新メンバー紹介

にしはら けいた
ピクトハウス 西原 啓太さん



さわやかな笑顔と、ひたむきな仕事ぶりで、周りのみんなを元気にしてくれています。
 これから利用者、職員と一緒にピクトハウスの中で「できた!」を積み重ねていきましょうね♪

ひろしまにし 広島西こども発達支援センターくれよん

はったつし えん
 にゅうえんしき

入園式をおこないました



ひろしまにし 広島西こども発達支援センターくれよんの入園式を4月7日におこないました。

今年度は、毎日通園の教室に10名の新入園児をお迎えしました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防対策として、来賓の方々や在園児とその保護者の方の参加を控えていただいた入園式でしたが、昨年度卒園児保護者から、新入園児保護者の方へ心のこもった応援メッセージをいただき、心温まる式となりました。

式では開所当時から受け継がれている「くれよん物語」のペープサートを披露しました。新入園児は新しい環境に不安になりながらも、保護者と一緒にペープサートを楽しんでいました。今年度も感染症対策をしながら、子どもたちと一緒に楽しめる活動を考えていきたいと思っております。

はつかいち カラフル アート展

てん



「はつかいち! (あい) アート展」から名称変更されました★

しゅつ 展
 出 展

はったつしょうがいけいはつしゅうかん さくひんてん ~“発達障害啓発週間”作品展~

4月6日(水)~10日(日)に、はつかいち美術ギャラリーにて開催された「第3回 はつかいち カラフル アート展~“発達障害啓発週間”作品展~」(はつかいち福祉ねっと“発達障害啓発週間”ワーキング主催)に、くさのみ福祉会の利用者12名の個人作品と複数の利用者による共同作品を出展しました。

毎年恒例となってきたこのアート展。市内の様々な団体や事業所の人たちと一緒に出品し、普段つながりのないたくさんの人たちに作品を観てもらおうことで、少しずつ心の輪が広がっています。



しゅつてんさくひん 出展作品
 きょうどうせいさく (共同制作)

ありがとうございました

ひろしまけん
広島県アートサポートセンター様

ひろしまけん
広島県アートサポートセンター様より

「アートを活性化するための画材支援プロ

グラム」の取組として、くさのみ作業所に

画材を寄贈いただきました。

利用者の芸術・創作活動に活用していきたいと思ひます。



にやりほっとエピソード集



日常生活の中でヒヤリとしたり、ハッとした出来事を表す際に「ヒヤリハット」という言葉を使うことがあります。一方で、思わぬニヤリとしたり、ホッとした言葉や振る舞いを「にやりほっと」というそうです。

日々利用者と接する中で、くさのみ福祉会ならではの「にやりほっと」をいくつかご紹介しします。

教室に親子で通い始めて1か月経った5月の連休でのエピソードです。

2才のA君が突然、お休みの日にもかかわらず「くれよん行く！」と言い始めたとお母さんから聞きました。

くれよんに来ることを楽しみにしてくれているのかな…と嬉しく思いました。

～広島西こども発達支援センターくれよん～



どんな事にも一生懸命！元気いっぱい！だけど頑固な一面も持ち合わせている若手のBさん。その日の外作業にも思いっきり打ち込み、満ち足りた表情を浮かべる本人の周りで、先輩利用者さんが「上手になったねえ」「落ち着いてできたね～」と、自然にBさんを褒めていました。みんなの中で支えられ、愛されながら、仲間の一員として認められていることを実感した場面でした。

～ピクトハウス～



グループホームのお風呂掃除での出来事です。新型コロナウイルスが流行する前までは、利用者が交代で掃除を行っていたのですが、感染予防の観点から、職員が行うことになりました。いつものように職員が掃除をしていると、Cさんが一言、「ありがとうございます。」と言ってくれました。感謝の言葉がとても嬉しかったです。

～ムックハウス～



「第33回くさのみまつり」について

秋に開催を予定しておりました「くさのみまつり」は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域の皆様の健康・安全面を第一に考え、中止とさせていただきます。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



ご寄附・献品ありがとうございました

令和4年2月1日～令和4年5月31日受付分
(敬称略 順不同)

西向寺仏教婦人会 佐伯西組仏婦連盟

佐伯地区民生委員児童委員協議会

鶴原 富夫 吉増 雅史 田中 澄男

山内 尚美 那須 順子 高山 佳子

今田 聡 小野 誠之 山本 繁生

蛭江 紀雄 匿名希望

～この他にも 食材等をいただいています～

◆編集後記◆

今年度から「くさのみだより」の発行に関わらせていただくことになりました。

コロナ禍で、もどかしい日々が続きますが、状況が落ち着いたら、大好きな焼き肉をお腹いっぱい食べに行く日を楽しみにしています。

くさのみ福祉会の様々なことをしっかりとお伝えできるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。(M・I)

社会福祉法人くさのみ福祉会

〒738-0033 広島県廿日市市串戸五丁目3-22 TEL 0829-31-2800 FAX 0829-31-2900
URL <https://kusanomi.org/>



通所事業部：くさのみ作業所・ピクトハウス・夢工房

廿日市特別支援学校放課後いきいき対策事業

生活事業部：ムックハウス・L & B・ホープ・ハートインハウス

(グループホーム、ショートステイ) さくら木荘・SAIさん家・串戸

相談支援事業部：相談支援事業所くさのみ(※委託：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ)

発達支援事業部：広島西こども発達支援センターくれよん

くさのみ福祉会後援会 TEL0829-31-2800 FAX0829-31-2900

みなさまの支えが大きな力に！

くさのみ福祉会 後援会のご案内

くさのみ福祉会後援会（無認可時代は「育てる会」）は、くさのみ作業所が無認可の1986（昭和61）年からともに歩んできました。

そして、多くのおみなさまのご支援、ご協力により、1995（平成7）年に社会福祉法人くさのみ福祉会として認可施設（知的障害者通所授産施設、定員40人）を開所。今年度、27年目を迎えることができました。

後援会は、くさのみ福祉会の発展を市民的に支えることを目的として組織し、あわせて、障がい福祉への理解を深めるための啓発活動にも取り組んでいます。

おかげさまで昨年度は61団体、741名の方々にご加入、ご継続していただきました。

ありがとうございました。

なお、入会等のお問い合わせは後援会事務局（0829-31-2800）までお願いいたします。



令和3年度 くさのみ福祉会後援会 決算書



収入の部

科目	予算額	決算額	摘要
繰越金	206,907	206,907	
会費	1,900,000	1,925,000	団体 696,000
			個人 1,229,000
利息等	13	11	
計	2,106,920	2,131,918	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
寄付金	1,000,000	1,000,000	
印刷費	250,000	250,000	インク代
通信費	100,000	94,765	たより発送
研修費	20,000	0	
事務費	600,000	572,251	人件費・用紙
予備費	30,000	0	
雑費	50,000	43,792	
次年度繰越金	56,920	171,110	
計	2,106,920	2,131,918	

令和3年度くさのみ福祉会の決算書は、ホームページに掲載しております。

また、くさのみ福祉会法人本部にも決算書類等は備え置きしておりますので閲覧も可能です。

新グループホーム開設に伴い



魅力ある福祉・介護の職場宣言
ひろしま認定事業所

社会福祉法人くさのみ福祉会

生活支援員 職員募集

(正規職員・パート職員)

未経験者OK!

あなたの笑顔がみんなの**チカラ**になる。



～業務内容～
日中活動、生活支援
業務（作業や食事介
助などのサポート）

お気軽にお問い合わせください

社会福祉法人くさのみ福祉会

〒738-0033 広島県廿日市市串戸五丁目3-22

☎ (0829) 30-9303

FAX (0829) 30-9304

HP <https://kusanomi.org/>



別紙